

私は気仙沼市の内の職
2区で自治会活動を通して、公民館や南社会福祉
協議会活動に関わり、地区の発展のために努力してきました。
15年ほど前、内の職地
区に自主防災組織を設立するため、市危機管理課の指導を受け、市内でも数少ない自主防災組織の設置にこぎつけました。間もなく避難訓練を実施し、当時の中央公民館に避難をして自助、共助、公助の役割を明確にする中で、自治会の会員参加を促しました。

2区内に避難場所を設置できなかつた。3階建て以上でなければならず、該当する所は2カ所でした。その一つは県合同庁舎の宿舎で、県関係者に打診をしたところ、外部からの侵入防止のため、屋上に通じる

した奥さまに用件を
し、会長に面談であ
う伝えました。奥さま
橋渡しで会長とお会い
課題を話したところ、
つ返事で避難場所に
も良いとの快諾をいた
きました。

おかげさまで自主防災組織は、内の脇1、2、3区合同で設置となり、このらせん階段を使用して避難訓練を実施し、経験を積むことができました。8年前の東日本大震災の大津波で、南氣仙沼に行くと、地区は、壊滅的な被害に遭いました。

阿部会長には大変な尽力をいただきました。東日本大震災前、気仙沼中央公民館の一角を借用して、かつて校舎があつた氣仙沼水産高校の変革を刻んだ石碑「飛翔の地」を、故小野寺逢仙先輩の揮毫で、建立することができました。

を刻み、未来永劫その歴史を残すことになり、改めて感謝します。

このように地域の発展を第一義として捉えて、活動されてきた良き理解者の阿部会長の訃報に接したのは、4月24日のことでした。突然の事であり、家族のお嘆きはいかばかりかと察するところです。惜しい人を「くして」と思うと同時に、在りし日の阿部会長との面談を思い出し、平成の氣仙沼の偉人は、令和にまたがりたくなかつたのかと、一人思いました。

今は亡き、故阿部恭兒会長の生前のご労苦にただただ感謝を申し上げます。どうか安らかにお眠りください。今ま

阿部長会長さんを偲んで

內海勝行

じるマンホール型のフタ
は、固定してあり、要望

には、室内を通過する必要があるため、脇にらせん階段

地区は、壊滅的な被害に遭いました。

中央公食館跡地は、東
から阿部長商店に譲渡さ

を思い出し、平成の氣仙沼の偉人は、令和にまた

は、固定してあり、要望には添えないとのことで、意気消沈しました。

あるため、脇にらせん階段を新設し、外からも登れるようにしてくれたことです。このような発想は、私たちには思いも付かず、県庁でも「のような発想なら可能だった

阿部長本宅の避難所で
18人の避難者が九死に一生を得たのは、この訓練のたまものであり、阿部会長の英断によるものと心から感謝します。

から阿部長商店に譲渡されたことを知り、石碑の再建立を、阿部会長にお願いしました。会長は地域のためになればと相談に乗っていただき、震災前と同じ場所となる阿部

沼の偉人は、令和にまたがりたくなかつたのかと、一人思いました。

今は亡き、故阿部恭兒会長の生前のご労苦にただただ感謝を申し上げます。どうか安らかにお眠

2019年5月28日
〔三陸新報〕